

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和 6年 3月 26日

事業所名 アシスト I

保護者等数(児童数)2名 回収数 1件 割合 50 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	1	0	0	0		
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	1	0	0	0		
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1	0	0	0		
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	1	0	0	0		
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	1	0	0	0		
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	1	0	0	0		
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	1	0	0	0		
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	1	0	0	0		
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	0	0	1		公園等に遊びに行ったときに、障がいのない子と一緒に遊んだりしている。
保護者への説明等	⑩ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	1	0	0	0		
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	1	0	0	0		
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	0	0	0	1		今後、検討を行っていく。
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	1	0	0	0		
	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1	0	0	0		
	⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	0	0	0	土曜日にあるそうなので平日もあるとたすかります。	昨年度は、平日と、土曜日に開催をしました。日程については、今後も検討をしていきたいです。
	⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	0	0	0	1		相談等があれば、それに応じて対応を行っていく。事業所だけでは解決しないことは、法人に情報を上げて、解決方法を模索していく。
⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	0	0	0	1		送迎時や連絡帳で連絡を取っている。また、電話連絡等を行っている。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	0	0	0	1		HP・SNSを活用して発信を行っている。
	⑲ 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	1	0	0	0	されてます。	
非常時等の 対応	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	1	0	0	0		
	㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	0	0	0		
満足度	㉒ 子どもは通所を楽しみにしているか	1	0	0	0		
	㉓ 事業所の支援に満足しているか	1	0	0	0		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和 6年 3月 1日

公表：令和 6年 3月 26日

事業所名 アシスト

		チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	1	・クールダウンできる部屋がある・最小限のものしか部屋に出ていないようにする	
	2	職員の配置数は適切である	2	0	3	・専門職の職員が配置している・もう1人いると現場は回しやすいかと思えます。・人が少ないと感じる時は子どもたちの動きが少なくなるように工夫する	・職員の配置は、今後も法人と相談をしながら適切に行っていきたい。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	1	2	・事業所が2階のため完全バリアフリーにはなっていない。2階が上がってしまえばバリアフリーになっている。・階段が急かな	・建物の構造上、2階のため、バリアフリーにはなっていない。現状は、身体に不自由な方の利用がないため、2階でも支障はない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0	1	・部屋が3部屋に分かれており、お子さんの状況に合わせて、部屋を区切ることもできる。	・部屋が複数あることで、状況に合わせて、利用ができています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	1	1	・会議等で、反省や次の目標を確認している。・自分が書いた事は必ず誰かにも共有するようにしている	・情報共有は今後もしっかりと行い、PDCAサイクルで行っていきたい。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	0	3	・年に一度保護者にも評価を行ってもらい、課題の抽出を行っている。・保護者様の意見については分からない	・保護者の意向をくみ取り、業務改善を今後も行っていきたい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	0	2	・ホームページ、すてっぷサポートにて公表している。	・ホームページやすてっぷサポートにて公表を行っている。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	2	2	・今後、検討を行っていく。・しているか分からない	・法人と相談し、検討を行っていく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	1	・内部、外部とも研修があれば、できる限り参加するようにしている。・全体会議（月一）で行っている	・今後も継続していく。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3	0	2	・保護者に確認を行っている。・管理者が作成している	・保護者の方に確認を行いながら、スタッフとどのように支援を行っていくか話し合っている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	1	・発達段階を確認できるアセスメントツールになっている。	今後、5領域を含めたアセスメントツールの活用を行っていく。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	0	2	・困ったことがあれば随時、相談にのり、一緒に解決方法を模索していく。・毎日は難しい	成長の度合いに合わせて、随時、相談等を行っていく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	2	0	3	・利用者の成長を促すために、今、どんな支援を行うか相談して決めている。	計画に合わせた支援計画を今後も計画を行っていきたい。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1	1	・スタッフ間で検討して決めている。・前の月に何をするかざっくりとは決めている	一人が立案したものを、チームで検討をして、より良いものへ今後もしていきたい。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	0	・季節に合わせた行事の計画を行っている。・担当者を毎日変えている	季節に合わせた行事の計画等を今後も取り入れながら、利用者さんが楽しみながら、できることを増やしていくことができるようにしていく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	3	0	2	・利用者の状況を見て、個別活動又は、集団活動を行っている。・活動が難しい子には簡単なツールを用意している	利用者さん一人一人のレベルに合わせて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる計画を今後も行っていきたい。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	0	・毎日、打ち合わせを行っている。・毎日打ち合わせをしている	毎日、打合せを行い、職員間で打合せを行っている。	
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2	1	・次の日の打ち合わせ時に前日の振り返りを行っている。・各々気になったことは話しているが決まりはない	その日の気になったことは、スタッフ間で話をしていく。今後も日々、話し合いをして、どのように行っていくの共有していきたい。	
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	1	1	・心理士がお子さんの状態を記録している。・業務日誌をかいている	業務日誌や、心理の記録等を活用して、検証し、改善につなげていく。	

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和 6年 3月 1日

公表：令和 6年 3月 26日

事業所名 アシスト

チェック項目		はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	0	・6ヶ月に一度の見直しを行い、必要に応じては、見直し期間を短くしている。・月に一度のケース会議	ケース会議等で話し合いを行っている。必要に合わせて、計画の見直しを行っている。
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1	1	・担当者会議の招集があった場合には、参加している。	相談支援事業所が行うサービス担当者会議自体がほとんどない。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	1	1	・こちらから直接連絡はとっていない。また、連絡がきたことが今のところない。	直接、こちらから連携を取っていない。学校等とは連携を行っている。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	0	4	・医療ケア児がいない。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	1	2	・医療ケア児がいない。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	0	4	・積極的にこちら側からは連絡はとっていない。今後、保護者の意向等があれば連携を図っていきたい。	連携が取れる体制を今後は検討していきたい。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	0	3	・積極的にこちら側からは連絡はとっていない。今後、保護者の意向等があれば連携を図っていきたい。・お迎えに行った時に先生と話すことはある	連携が取れる体制を今後は検討していきたい。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	1	・法人内の事業に通っているため、情報共有を行っている。	研修等があるときには、参加をしている。今後も積極的に参加を行ってきたい。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	2	1	・公園などで同年齢のお友達がいる時に、遊んでいる。	公園等で関わりを持つ程度。来年度は、クリスマス会に町内会の子ども会と一緒に企画していきたくと考えている。
	29 (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	2	2	・自立支援協議会に子ども部会がない。通所支援連絡会には会員になり、参加している。	自立支援協議会に、子ども部会がない。他の部会には、参加を行っている。今後子ども部会ができた時には、ぜひ参加をしたい。
保護者への説明責任	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	0	2	・保護者とは連絡帳や電話、送迎時に子どもの様子を伝えている。	・連絡帳や電話等を活用して、共通理解を持てるようにしていきたい。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	1	1	3	・まだまだ保護者が希望するペアレント・トレーニングはできていない。	・今後、ペアレントトレーニングができるように支援を行っていく。
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	1	・契約時に説明を行っている。	・契約時に説明を行い、分からないことがあれば、その都度、相談ののっていく。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3	0	2	・支援計画ができたなら、保護者に説明をして、サインを頂いている。	・保護者に確認をして頂き、同意を得てサインを頂いている。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	1	・その都度、相談があれば応じている。	・その都度、相談があれば応じている。事業所内で対応が難しい場合には、法人全体で相談を行っている。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	1	2	・定期的に保護者会を開いている。	・今年度は、平日1回、土曜日1回の年2回保護者会を開催することができた。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0	2	・相談があれば、随時、一緒に解決方法を探っていく。	・相談があれば、随時、一緒に解決方法を見つけて行っている。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和 6年 3月 1日

公表：令和 6年 3月 26日

事業所名 アシスト

		チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
仕 等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1	1	・定期的にホームページやSNS等で、発信している。	・今後も定期的にホームページやSNS等を活用して発信を行っていきたい。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0	1	・鍵付きの書庫に書類は入れている。	・個人情報の取扱いには、今後も十分に注意を払っていく。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	0	2		・今後も意思の疎通や情報伝達ができるように配慮を行っていく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	1	3	コロナ明けということで、地域との交流はまだできていない。来年度からは地域との交流を行っていく。	・コロナ明けということで、色々な行事が制約されていたため、本年度は事業所だけでクリスマス会を行った。来年度からは、地域の町内会と一緒に行っていくことを予定している。
非 常 時 等 の 対 応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	0	1	避難訓練は、色々なバージョンで月に一回行っている。	・マニュアルは、全職員に周知している。変更が出た場合にも適宜、直している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	1	災害を想定して、避難訓練を行っている。	・避難訓練は、地震・大雨・不審者など、色々なバージョンで偶数月は、事業所毎。奇数月は、法人全体で行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	0	1	契約時に確認している。その後は、6ヶ月に一回確認を行っている。	・契約時のアセスメントでの聞き取りで把握している。服薬などは変更があれば、その都度、連絡を頂いている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0	1	医師から直接の指示書はないが、保護者を通じて情報共有を行っている。	医師の指示書は頂いていないが、アレルギー等はスタッフで情報共有を行っている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	0	3	怪我や事件に繋がらないように、スタッフでその都度、確認を行っている。	ヒヤリハットを作成して、情報共有をしてけがや事故に繋がらないようにしている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1	0	職場内外の研修があれば、その都度、参加している。	研修は、全職員が参加できるようにしている。また、参加ができない時には、回覧等で閲覧している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	0	1	個別支援計画に記載している。	個別支援計画に記載している。また、身体拘束を行った時には、保護者に説明をしている。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和 6年 3月 26日

事業所名 アシスト

保護者等数(児童数) 30名 回収数 15件 割合 50 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	1	0	4	広いスペースだと思います。	法令に準じた広さになっています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10	2	0	3	毎日何名で見られているのかわからないのですが目は行き届いていると思います。	現在スタッフは、管理者児発管業務で1名。児童指導員が1名。保育士2名。公認心理師が1名で対応しております。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	2	0	6	はい。	事業所が2階ということで、完全バリアフリーとはなっていないが、2階に上がってしまえば、大丈夫です。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ⅰが作成されているか	14	0	0	1	はい、されています。	
	5 活動プログラム※ⅱが固定化しないよう工夫されているか	13	1	0	1	季節の行事を取り入れ様々な活動をされています。公園などの外出する活動は少ないです。	今後は、公園での活動も増やしていけるように対応していきますね。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	2	4	7	特になし。他のデイサービスとの交流があればいいと思います。特にありません。あるとうれしい。わかりません。状況にもよりますが、障害のないお子さんと関わる時間の中でコミュニケーション能力がアップすることが期待できるような活動はであると嬉しいですが、なかなか難しいと思います。参加したことがないのでわからない。障害のない子との交流は学校で十分できているので、必要に感じません。わかりません。色々な機会を作っていたいてありがたいです。よくわかりません。障害のない子供たちとの関わりがあるということは聞いたことがないが、なくても良いと思う。通っているなかでは聞いたことがありません。	今のところ、障がいのない子どもと活動する機会がほとんどありません。公園等に遊びに行った先に、遊びに来ているお子さんとの関わりがある程度です。
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	1	0	1	特になし。連絡ノートで支援の内容教えてもらいたい。利用ははじめの頃にあったと思うが覚えていない。帰宅したときにその都度、どんな活動をしたか等説明がある。最初に聞きました。分かりやすく伝えていただきました。ないです。こちらがやって欲しいと思う支援をやっていただけてと思う。通所を開始する際にお聞きしています。	契約時に説明をさせて頂いております。また、HPで活動スケジュールを提示しております。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13	2	0	0	こちらから連絡をするとその時は丁寧に対応してください。ただ日々の活動内容はその日の連絡ノート4行程でしか分からないので改善されると嬉しいです。はい、学校の状況なども共有できています。	連絡帳とHP上にブログとして活用内容を掲示しています。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	6	0	0	なかなかこちらが時間を作れていません。機会ごとに電話を頂いたり懇談をしてくださる管理者さんいれば、書類のやりとりだけで一度も話したことがない管理者さんもいます。	こまめに連絡を取り合い、情報共有等を行ってまいります。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	6	1	2	コロナ禍が終わりまた活動も復活してします。開催されています。	昨年度は、平日に一度、土曜日に一度の2回行いました。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1	0	6	はい。	対応の体制整備等、契約時に説明しています。苦情等があった場合には障族に対応をしています。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	4	0	0	はい、していただいています。	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	1	0	0	最近はSNSの投函もよく目にします。会報やインスタを楽しく見えています。	HPやSNSを活用しています。
14 個人情報に十分注意しているか	14	1	0	0	大丈夫です。		

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和 6年 3月 26日

事業所名 アシスト

保護者等数(児童数) 30名 回収数 15件 割合 50 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
非常時等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症 対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明さ れているか	10	2	1	2	プリントやメールでいただいています。	その都度、変更等があれば、一斉 メールや手紙等を通じてお伝えして います。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、 その他必要な訓練が行われているか	12	0	0	3	特になし。定期的に避難訓練してもらって いる。特にありません。行われている。避難訓 練があるので行われていると思いますが、そ の他必要な訓練等、細かいことまでは知りま せん。細かい所まで。行われていると思いま す。避難訓練をしています。避難訓練をして いるかわからない。我が子が利用させても らっているときに行われているかは、わから ない。そう思っています。定期的に実施し ただいていると思います。無いです。避難訓 練をやっていただけ。活動内容に書かれ ているので、訓練は行われているのかなと思 います。	月に1回。避難訓練を行っていま す。偶数月は、事業所毎で行い、奇 数月は、法人全体で行っておりま す。月1回の為、利用日に実施して いない月も出てきていると思いま す。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	13	2	0	0	長年利用していますがいつも楽しく通って います。しています。帰宅後機嫌が悪い時があ ります。こだわりが強い子でもう少し利用し た時の様子など教えていただけたら助かりま す。	送迎時に、いつもと違う場合には、 連絡をするとともに、電話連絡がで きるようにしていきたいと思いま す。
	18 事業所の支援に満足しているか	14	0	0	1	スタッフの入替えが多かったり、専門知識も スタッフの方それぞれではあります。ですが 総合的には感謝の思いでいっぱいです。信頼 でき何よりも子供の成長を大きく感じられる 事業所だと思います。これからも利用継続し たいと思っています。	ありがとうございます。今後も職員 で連携を図り、精進してまいりした いと思います。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等サービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6年 3月 26日

公表:令和 6年 3月 日

		チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	1	ケールダウンできる部屋がある。少し死角が多い気はする。	一人のスタッフで見ず、複数のスタッフで連携をして、視覚がない状態にしながら支援を行っていききたい。
	2	職員の配置数は適切である	1	2	2	専門的職員の配置を行っている。もう1人いると現場は助かります。スタッフのお休みが多い時は大変。事業所が二階のため完全バリアフリーにはなっていない。2階に上がってしまうとバリアフリーになっていない。階段がすこし急。	職員の配置は、国が定める基準を満たしている。専門職員の配置もしているため、スタッフの配置はしっかりと行っている。一人一人の子ども達を見る技量を高めていきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	1	1	会議等で反省や次の目標を確認している。決まりがあるわけではない。年に一度、保護者に評価してもらい、課題の抽出を行っている。ホームページやずてつサポートにて公表している。	・建物の構造上、2階のため、バリアフリーにはなっていない。現状は、身体に不自由な方の利用がないため、2階でも支障はない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	1	2	・情報共有は今後もしっかりと行い、PDCAサイクルで行っていききたい。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	0	2	・保護者の意向をくみ取り、業務改善を今後も行っていきたい。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	1	・ホームページやずてつサポートにて公表を行っている。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	2	2	今後、検討を行っていく。	・法人と相談し、検討を行っていく。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	1	内部、外部とも研修があれば、できる限り参加するようにしている。	・今後も継続していく。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	1	1	保護者に確認を行っている。	・保護者の方に確認を行いながら、スタッフとどのように支援を行っていくか話し合っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用	3	1	1	発達段階を確認できるアセスメントツールになって	・今後、5領域を含めたアセスメントツールの活用を行っていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1	1	スタッフ間で検討して決める	・一人が立案したものを、チームで検討をして、より良いものへ今後もしていきたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	0	季節に合わせた行事の計画を行っている。	・季節に合わせた行事の計画等を今後も取り入れながら、利用者さんが楽しみながら、できることを増やしていくことができるようにしていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	1	2	長期休みには、普段できない外出を行ったり、時間の掛かる活動を取り入れ	・長期休み時には、普段できない活動等を取り入れている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	1	利用者の状況を見て、個別活動又は、集団活動を行っている。	・利用者さん一人一人のレベルに合わせて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ計画を今後も行っていきたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	1	毎日、打ち合わせを行っている。	・毎日、打合せを行い、職員間で打合せを行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	1	2	次の日の打ち合わせ時に前日の振り返りを行っている。	・その日の気になったことは、スタッフ間で話をしている。今後も日々、話し合いをして、どのように行っていくのか共有していきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	1	1	心理士がお子さんの状態を記録している。	・業務日誌や、心理の記録等を活用して、検証し、改善につなげていく。
	18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断して	4	0	1	6ヶ月に一度の見直し期間を短くしている。	・ケース会議等で話し合いを行っている。必要に合わせて、計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	2	0	3	地域交流の機会を作ることがなかなか難しい。来年度は、地域とのクリスマス会を企画していく予定。	・ガイドラインの総則の基本活動を照らし合わせながら、支援を改革を行っている。
関係機関や保護者との	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	1	担当者会議の招集があった場合には、参加している。	・相談支援事業所が行うサービス担当者会議自体がほとんどない。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	2	0	3	学校とは送迎時等に連絡をしたり、気になったことがあれば、連絡をしている。	・月に1回、保護者から下校一覧を記入して提出して頂いている。変更があった場合にも保護者から連絡を頂いている。さらに、学校からも申し送り連絡が入っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	0	5	現在、医療ケア児がいない。必要に応じて、連携を取っていききたい。	・現在、医療ケア児の利用がない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	0	2	法人内の事業所を利用している方は、情報共有を行っている。保育園等とは、直接のやり取りはして	・連携が取れる体制を今後は検討していきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	0	3	事業所内に、高校生はいないため、障害福祉との情報提供は行っていない。	・卒業生がいない為、障害福祉とのサービスとの情報共有は行っていない。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1	2	研修等があれば積極的に参加している。	・研修等があるときには、参加をしている。今後も積極的に参加を行っていききたい。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6年 3月 26日

公表:令和 6年 3月 日

		チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
連携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	3	2	公園等に行った時に、健常の子がいれば、関わりを持って遊んでいる。	・公園等で関わりを持つ程度。来年度は、クリスマス会に町内会の子ども会と一緒に企画していきたいと考えている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	1	3	自立支援連絡協議会には、必要に応じて参加しているが、児童(子ども)部会がない。	・自立支援協議会に、子ども部会がない。他の部会には、参加を行っている。今後子ども部会ができた時には、ぜひ参加をしたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	1	1	保護者とは、連絡帳や電話、送迎時に子どもの様子を伝えている。	・連絡帳や電話等を活用して、共通理解を持つようにしていきたい。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	1	3	まだまだ保護者が希望するペアレント・トレーニングはできていない。	・今後、ペアレント・トレーニングができるように支援を行っていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	0	2	契約時に、説明を行っている。	・契約時に説明を行い、分からないことがあれば、その都度、相談ののっていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	1	1	悩み等に対する相談があれば、その都度、相談ののっている。	・その都度、相談があれば応じている。事業所内で対応が難しい場合には、法人全体で相談を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	1	1	なかなか、参加率が上がらないため、日程を平日から土曜日に変えてみたが、それでも集まりが少な	・今年度は、平日1回、土曜日1回の年2回保護者会を開催することができた。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0	2	相談があれば、随時、一緒に解決方法を探っていく。	・相談があれば、随時、一緒に解決方法を見つけに行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	0	2	定期的にホームページやSNS等で、発信している。	・今後も定期的にホームページやSNS等を活用して発信を行っていく。
	35	個人情報に十分注意している	4	0	1	鍵付きの書庫に書類を入れています。	・個人情報の取扱いには、今後も十分に注意を払っていく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	0	2	0	・今後も意思の疎通や情報伝達ができるように配慮を行っていく。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	0	3	コロナ明けということで、地域との交流はまだできていない。来年度からは地域との交流を行っている	・コロナ明けということで、色々な行事が制約されていたため、本年度は事業所だけでクリスマス会を行った。来年度からは、地域の町内会と一緒にやっていくことを予定している。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1	1	年に一度、マニュアルの確認を行っている。	・マニュアルは、全職員に周知している。変更が出た場合にも適宜、直している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	0	月に一度、色々な想定をして避難訓練を行っている。	・避難訓練は、地震・大雨・不審者など、色々なバージョンで偶数月は、事業所毎。奇数月は、法人全体で行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	1	職場内外の研修があれば、その都度、参加してい	・研修は、全職員が参加できるようにしている。また、参加ができない時には、回覧等で閲覧して
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載して	4	0	1	個別支援計画に記載している。	・個別支援計画に記載している。また、身体拘束を行った時には、保護者に説明をしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	0	2	医師からの直接の指示書はないが、保護者を通じて情報共有を行っている。	・医師の指示書は頂いていないが、アレルギー等はスタッフで情報共有を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	1	2	怪我や事件に繋がらないように、スタッフでその都度、確認を行っている。	・ヒヤリハットを作成して、情報共有をしてけがや事故に繋がらないようにしている。